

クライテリアの対応方針(案)

1. クライテリアの適用に関する IUCN の指摘事項

- 本資産の再推薦にあたっては、IUCN 評価書の下記の勧告を踏まえ、クライテリア(x)による推薦とし、価値説明のストーリーを再検討するとともに、推薦区域等を修正する。

クライテリア(ix)：生態系／生物群集及び生態学的／生物学的過程

境界線の設定が不適切。修正しても、(ix)については要件を満たすことが難しい

- 選定された 4 つの島嶼クラスターは、大陸島における進化過程の顕著な例を保護している構成要素を含んでいる。すなわち、分断や孤立の結果としての種分化や種の多様化である。
 - しかしながら、資産の分断されたり非連続的な構成や、いくつかの小規模な構成要素には、生態学的な持続可能性に重大な懸念がある。このため推薦資産は完全性の要件を満たさない。
- IUCN は、推薦資産は本クライテリアに合致しないと考える。

クライテリア(x)：生物多様性と絶滅危惧種

境界線の設定が不適切だが、修正すれば(x)に合致する可能性がある。

- 選定された 4 つの島嶼クラスターは、本地域の独特で多様な生物多様性の生息域内保全のために最も重要な自然生息地を包含している。推薦地域では一般的に、多くの種類群において小規模島嶼に関連して高い種数が見られる。また絶滅危惧種の種数や割合も多く、数種の CR 種がみられ、遺存種や進化的に独特な種を含め、固有種数と固有種率も高い。推薦資産には地球規模の絶滅危惧種の保護のために高いかけがえのなさを示す地域を含んでいる。
 - しかしながら、すでに述べたように、北部訓練場返還地の中には推薦資産の価値と完全性を大きく追加するような重要地域があり、すぐにでも推薦に追加することが提案されている。また、構成要素を選定し、推薦の価値に貢献もせず、完全性の要件も満たさない不適切な小規模の地域を除外するために、多くの修正も必要である。
- IUCN は、北部訓練場返還地の関連地域を推薦に追加し、推薦の価値を追加しない不適切な構成要素を除外すれば、推薦資産は本クライテリアに合致する可能性があると考える。

2. クライテリアの対応方針

クライテリア(x) : 作業指針II.D.77より

学術上又は保全上顕著な普遍的価値を有する絶滅のおそれのある種の生息地など、生物多様性の生息域内保全にとって最も重要な自然の生息地を包含する。

II. D. 77.

(x) contain the most important and significant natural habitats for in-situ conservation of biological diversity, including those containing threatened species of Outstanding Universal Value from the point of view of science or conservation.

- 推薦書「3.1.b. 該当するクライテリア」において、推薦地4島は、国際的な生物多様性の生息域内保全のために重要な自然の生息地を包含していることを、資料2-2のストーリー構成(案)により説明する。
 - その際、クライテリア(ix)で説明してきた「琉球列島の地史と種分化の過程」は、推薦地は固有種が多いことや、独特の進化を遂げた地球規模の絶滅危惧種(EDGE種)が存在することの、背景説明として活用する。